

<年2回決算型・為替ヘッジあり>

第11期末 (2024年12月20日)	
基準価額	8,252円
純資産総額	495百万円
騰落率	2.9%
分配金	0円

<年2回決算型・為替ヘッジなし>

第11期末 (2024年12月20日)	
基準価額	10,547円
純資産総額	797百万円
騰落率	2.7%
分配金	400円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ／シュローダー・ グローバルCBファンド

(年2回決算型・為替ヘッジあり)

(年2回決算型・為替ヘッジなし)

【愛称】攻防兼備

追加型投信／内外／その他資産（転換社債）

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2024年6月21日～2024年12月20日

第11期（決算日 2024年12月20日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／シュローダー・グローバルCBファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）／（年2回決算型・為替ヘッジなし）」は、このたび第11期の決算を行いました。

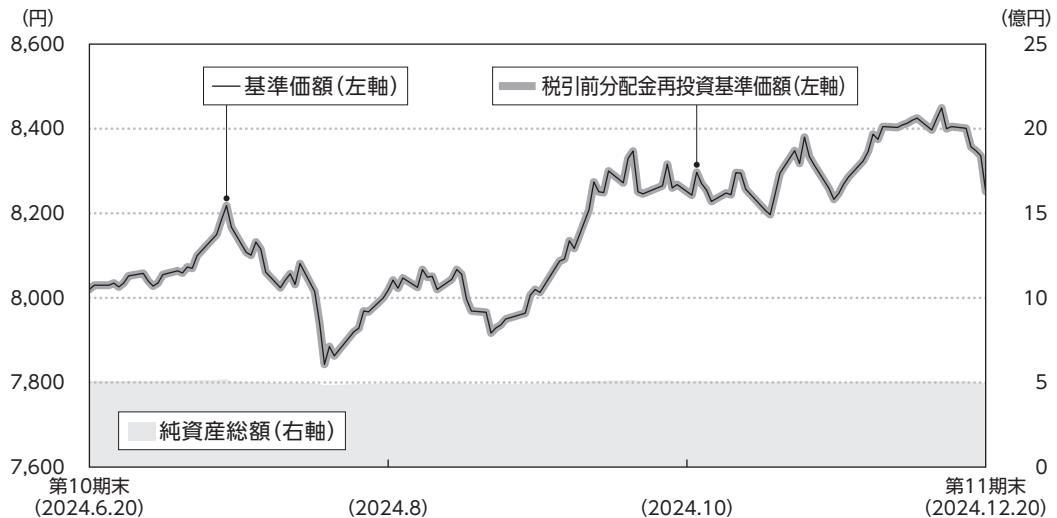
各ファンドは、「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のCB（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2024年6月21日～2024年12月20日

基準価額等の推移



第11期首	8,020円	既払分配金	0円
第11期末	8,252円	騰落率 (分配金再投資ベース)	2.9%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指標化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

- 期初から7月中旬にかけて、生成人工知能（A I）への需要拡大を背景とした半導体関連企業の好業績や欧州中央銀行（E C B）など各国中央銀行が利下げに踏み切ったこと、また米国の利下げから米景気がソフトランディング（軟着陸）に向かうとの期待感が高まったことなどにより株式市場が上昇し、C B市場も一定程度追随したこと
- 9月中旬から12月上旬にかけて、E C Bの追加利下げや米連邦準備制度理事会（F R B）の大幅な利下げ、中国政府による景気刺激策などに加えて、米大統領選で勝利したトランプ次期大統領による規制緩和や減税延長への期待から、米株式市場が上昇し、C B市場も追随したこと

＜下落要因＞

- 7月末から8月上旬にかけて、米雇用統計などの経済指標の悪化によって米景気の後退懸念が広がったことなどから、株式市場、C B市場がともに急落したこと
- 12月中旬から当期末にかけて、F R Bが2025年の利下げに慎重な姿勢を示したことで米長期金利が上昇したことなどから、株式市場、C B市場とともに下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第11期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	46円	0.560%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,162円です。
(投信会社)	(13)	(0.160)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(32)	(0.386)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファン ドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務 付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	46	0.565	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

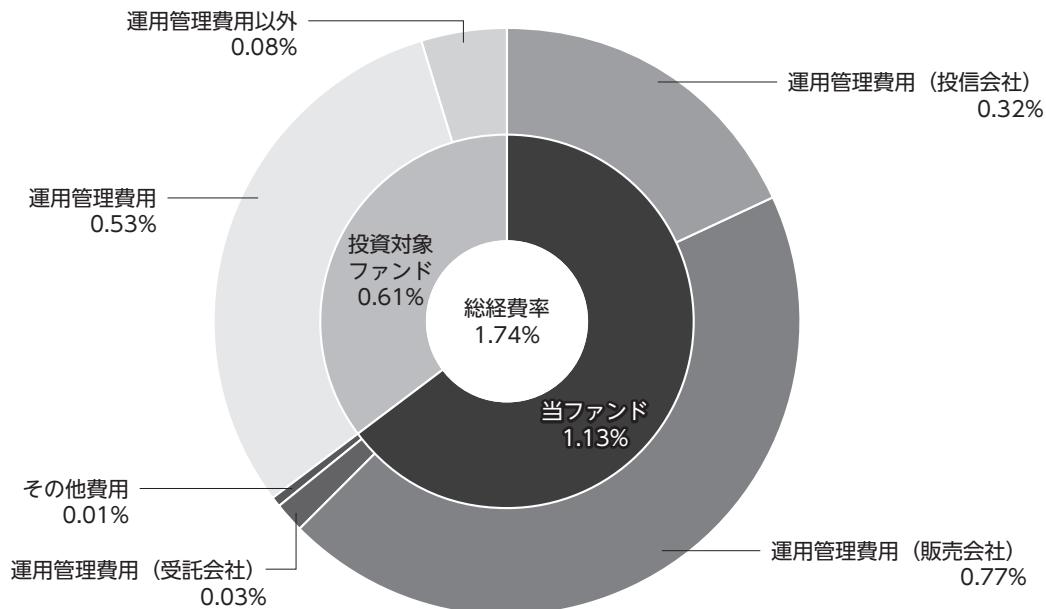
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

(参考情報)

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



項目	割合
総経費率 ((①+②+③))	1.74%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資対象 ファンドの運用管理費用の比率	0.53%
③投資対象 ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

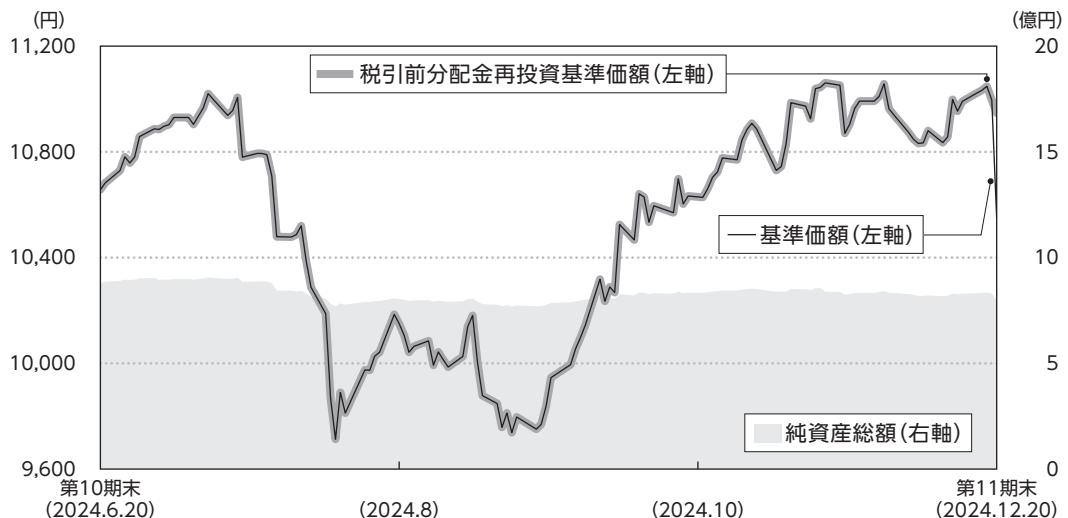
(注4) 投資対象 ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象 ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第11期首	10,657円	既払分配金	400円
第11期末	10,547円	騰落率（分配金再投資ベース）	2.7%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指標化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・期初から7月中旬にかけて、AIへの需要拡大を背景とした半導体関連企業の好業績やECBなど各国中央銀行が利下げに踏み切ったこと、また米国の利下げから米景気が軟着陸に向かうとの期待感が高まることなどにより株式市場が上昇し、CB市場も一定程度追随したこと
- ・9月中旬から12月上旬にかけて、ECBの追加利下げやFRBの大幅な利下げ、中国政府による景気刺激策などに加えて、米大統領選で勝利したトランプ次期大統領による規制緩和や減税延長への期待から、米株式市場が上昇し、CB市場も追随したこと

<下落要因>

- ・7月末から8月上旬にかけて、米雇用統計などの経済指標の悪化によって米景気の後退懸念が広がったことなどから、株式市場、CB市場ともに急落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第11期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	59円	0.560%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,549円です。
(投信会社)	(17)	(0.160)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(41)	(0.386)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファン ドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務 付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	60	0.565	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

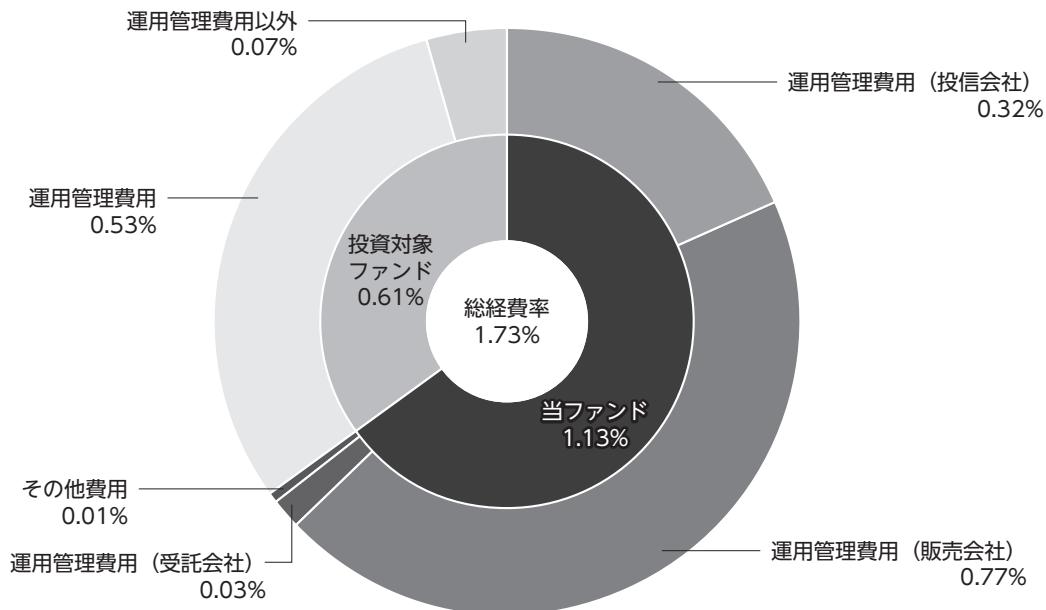
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

(参考情報)

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

■グローバルCB市況

当期のグローバルCB市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初から7月中旬にかけては、A Iへの需要拡大を背景とした半導体関連企業の好業績やE C Bなど各国中央銀行が利下げに踏み切ったこと、また米国の利下げから米景気が軟着陸に向かうとの期待感が高まつたことなどにより株式市場が上昇し、CB市場も一定程度追随しました。7月末にはハイテク株を中心に株式市場が調整し、その後、日銀の追加利上げ決定を受けて急速に米ドル安円高が進行したことや、米雇用統計などの経済指標の悪化によって米景気の後退懸念が広がつたことなどから、株式市場、CB市場ともに急落しました。8月中旬から下旬にかけては、米国における景気の堅調さと利下げ期待が下支えとなり、株式市場は上昇し、CB市場も一定程度追随しました。9月中旬から12月上旬にかけて、E C Bの追加利下げやF R Bの大幅な利下げ、中国政府による景気刺激策などに加えて、米大統領選で勝利したトランプ次期大統領による規制緩和や減税延長への期待から、米株式市場が上昇し、CB市場も追随しました。当期末にかけては、F R Bが2025年の利下げに慎重な姿勢を示したことで米長期金利が上昇したことなどから、株式市場、CB市場ともに下落しました。

■為替市況

当期の米ドル／円相場は、米ドル安円高となりました。

期初より米ドル高円安で推移しましたが、7月中旬から9月上旬にかけては日銀の追加利上げを受けて日米金利差が縮小するとの見方が広がつたことや、米雇用統計等の各種指標が弱含んだこと、ジャクソンホール会議でのパウエル議長の利下げに前向きな発言などから、米国の利下げ観測が高まり、米ドル安円高となりました。9月下旬から当期末にかけては、複数の経済指標が堅調であったことや米大統領選で共和党のトランプ氏が勝利し、関税引き上げと財政支出拡大への思惑からインフレの長期化と米国経済の改善が意識されたこと、米連邦公開市場委員会（F O M C）において利下げペース減速が示唆されたことなどから米ドル高円安基調で推移しました。

当期のユーロ／円相場は、ユーロ安円高となりました。

期初よりユーロ高円安で推移しましたが、7月中旬から9月上旬にかけては、日銀の追加利上げや米国の低調な経済指標を受けて米欧の金利が低下したことなどから、ユーロ安円高となりました。9月中旬から10月末にかけては、日本の衆院選で与党が過半数を割って政治の不確実性が高まつたことや、ユーロ圏消費者物価指数（H I C P）の前年同月比伸び率が前月から加速してインフレ長期化の懸念が高まつたことなどから、ユーロ高円安が進みました。11月初旬から当期末にかけては、E C Bの利下げ期待やトランプ次期大統領の関税引き上げが欧州経済に悪影響を与えるとの懸念が高まつたことなどから、ユーロ安円高基調となりました。

ポートフォリオ

■年2回決算型・為替ヘッジあり

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■年2回決算型・為替ヘッジなし

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

*主な投資対象となる「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」のマザーファンドについての説明であり、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の資料（現地における当期末基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主に日本を含む世界のCBに投資を行いました。なお、《為替ヘッジあり》については、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

<業種配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に情報技術（28.5%）、一般消費財・サービス（12.9%）、資本財・サービス（12.5%）としています。

<国・地域別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順にアメリカ（42.2%）、日本（13.5%）、ケイマン諸島（10.1%）としています。

<通貨別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に米ドル（68.5%）、ユーロ（13.9%）、円（13.2%）としています。

(注1) 業種配分、通貨別配分の比率は対組入債券評価額比、国・地域別配分の比率は対純資産総額比です。

(注2) 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類ですが、GICS分類が不明な場合はブルームバーグ業種分類（BICSレベル1）を基に分類しています。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注3) 国・地域はシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の分類（設立地・登記国基準）によるものです。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

■年2回決算型・為替ヘッジあり

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

■年2回決算型・為替ヘッジなし

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

分配金

■年2回決算型・為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送させていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2024年6月21日～2024年12月20日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	280円

■年2回決算型・為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2024年6月21日～2024年12月20日
当期分配金（税引前）	400円
対基準価額比率	3.65%
当期の収益	287円
当期の収益以外	112円
翌期繰越分配対象額	546円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■年2回決算型・為替ヘッジあり

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■年2回決算型・為替ヘッジなし

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジなし」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

FRBは2024年9月に事前予想を超える0.5%の利下げを決定し、11月と12月にもそれぞれ0.25%の利下げを決定しました。低金利政策のもとで労働市場の弱体化や消費支出の急激な減少、想定を超える景気の悪化が同時に起こった場合、株式市場にも悪影響が波及する可能性があります。また、景気後退が起こった場合、セクターローテーション（景気の局面ごとに有望な業種別銘柄群に投資対象を切り替えていく戦略）や地域ローテーション（景気の局面ごとに有望な地域に投資対象を切り替えていく戦略）が生じる可能性もあり、注意が必要です。

このような状況下で、株式と債券の特性を併せ持ったCBへの投資は、株式市場の上昇局面では株式の上昇に一定程度追随し、下落相場では下値を抑制するという点で魅力的であると考えます。今後の景気後退局面においては、下値を抑制するというCBの特性が発揮されることが予想されることから、今後も市場の動向を注視しつつ、より魅力的なCB銘柄の発掘に努めていきます。

「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」では、主に日本を含む世界のCBに投資を行います。なお、『為替ヘッジあり』については、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

ニッセイ／シュローダー・グローバルCBファンド（年2回決算型・為替ヘッジあり）の組入資産の内容

組入ファンド

	第11期末 2024年12月20日
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	99.6%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

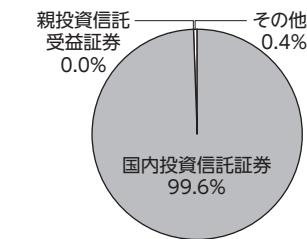
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

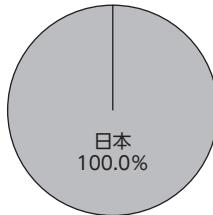
項目	第11期末 2024年12月20日
純資産総額	495,721,053円
受益権総口数	600,735,084口
1万口当たり基準価額	8,252円

(注) 当期間中における追加設定元本額は49,266円、同解約元本額は34,321,372円です。

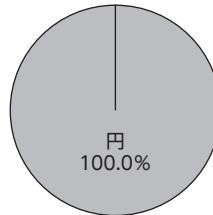
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年12月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ／シュローダー・グローバルCBファンド（年2回決算型・為替ヘッジなし）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第11期末 2024年12月20日
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	99.4%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

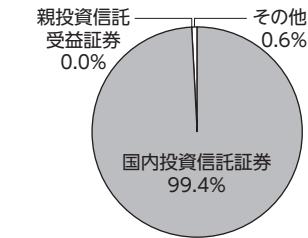
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

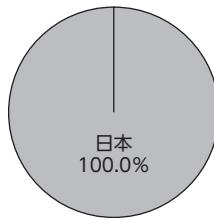
項目	第11期末 2024年12月20日
純資産総額	797,378,599円
受益権総口数	756,050,672口
1万口当たり基準価額	10,547円

(注) 当期間中における追加設定元本額は11,370,361円、同解約元本額は80,189,018円です。

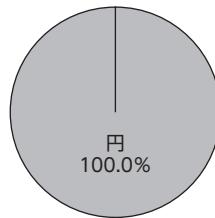
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分

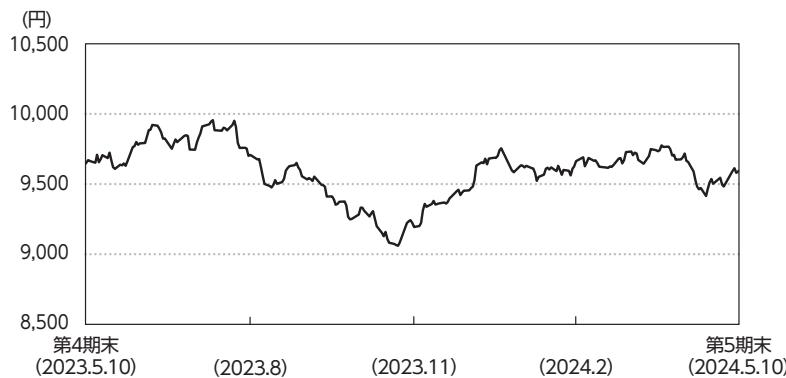


(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年12月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

シユローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなしの概要

＜シユローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり＞

■税引前分配金再投資基準価額の推移



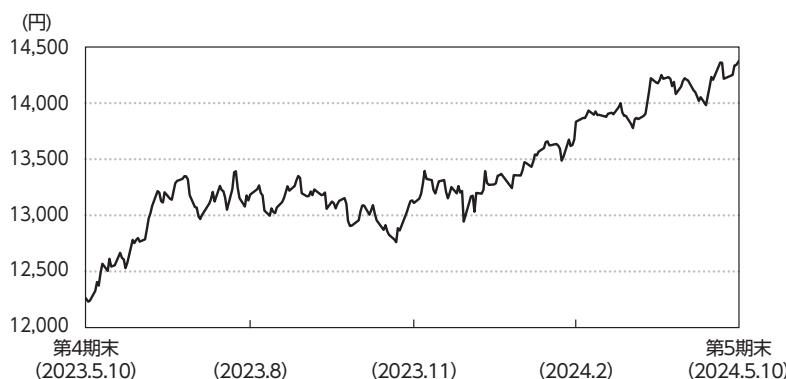
■1万口当たりの費用明細

2023.5.11～2024.5.10

項目	金額
信託報酬	51円
（投信会社）	(49)
（販売会社）	(0)
（受託会社）	(3)
その他費用	8
（保管費用）	(3)
（監査費用）	(2)
（印刷費用）	(2)
（その他）	(1)
合計	59

＜シユローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジなし＞

■税引前分配金再投資基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

2023.5.11～2024.5.10

項目	金額
信託報酬	72円
（投信会社）	(68)
（販売会社）	(0)
（受託会社）	(4)
その他費用	10
（保管費用）	(4)
（監査費用）	(2)
（印刷費用）	(2)
（その他）	(2)
合計	82

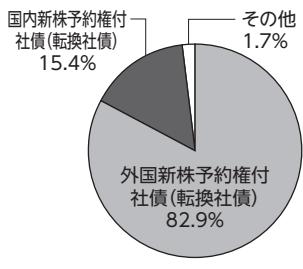
（注1）税引前分配金再投資基準価額の推移は、投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指標化しています。

（注2）1万口当たりの費用明細は、投資信託証券の直近の決算期のものです。費用項目の概要については運用報告書（全体版）の1万口当たりの費用明細をご参照ください。

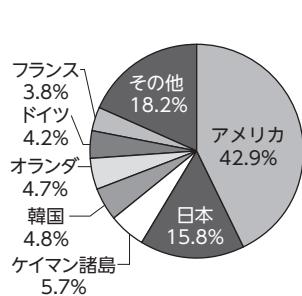
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
QIAGEN NV 0% CB	米ドル	2.6%
ON SEMICONDUCTOR 0.5% CB	米ドル	2.2
ANLLIAN CAPITAL 0% CB	ユーロ	2.2
FORD MOTOR 0% CB	米ドル	2.1
ENI SPA 2.95% CB	ユーロ	2.1
DEXCOM INC 0.375% CB	米ドル	2.0
LENOVO GROUP 2.5% CB	米ドル	1.8
AKAMAI TECHNOL 0.125% CB	米ドル	1.6
DROPBOX INC 0% CB	米ドル	1.4
UBER TECHNOLO 0.875% CB	米ドル	1.4
組入銘柄数		132

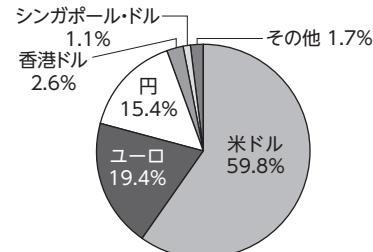
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



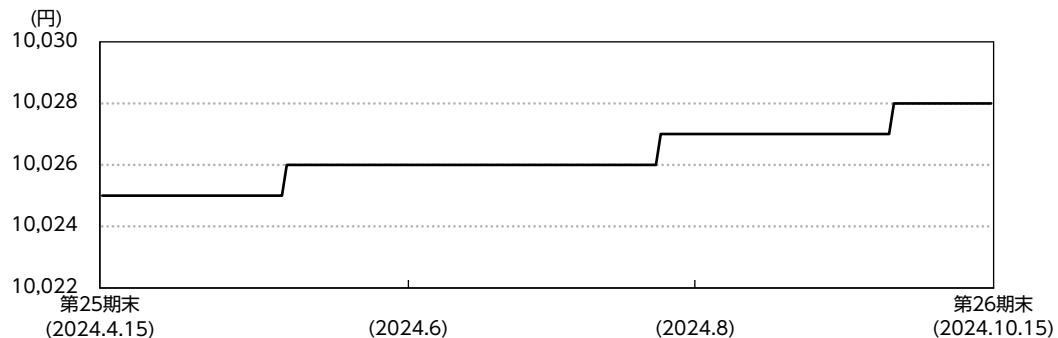
(注1) 組み入れているのは「シローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」ですが、上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は投資信託証券が投資しているマザーファンドの投資資産を表示しています。

(注2) 上位銘柄・資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2024年5月10日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分については発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しています。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入資産の明細をご参照ください。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■基準価額の推移



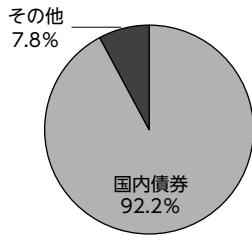
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
平成26年度第1回 滋賀県公募公債	円	14.6%
令和元年度第8回 神戸市公募公債（5年）	円	14.5
第146回 共同発行市場公募地方債	円	12.8
第213回 神奈川県公募公債	円	12.7
令和元年度第1回 鹿児島県公募公債（5年）	円	12.7
第69回 政保地方公共団体金融機構債券	円	6.4
第147回 共同発行市場公募地方債	円	6.3
第748回 東京都公募公債	円	6.3
第231回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	5.7
組入銘柄数		9

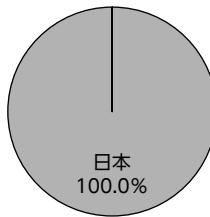
■1万口当たりの費用明細

当期（2024年4月16日～2024年10月15日）における費用はありません。

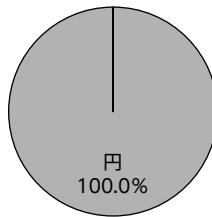
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注1） 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

（注2） 上位銘柄・資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2024年10月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

（注3） 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)			(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	シュローダー・ グローバル CBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	債券 組入比率	純資産 総額
		税引前 分配金	期中 騰落率				
7期(2022年12月20日)	8,296	0	0.5	9,496	98.5	0.0	772
8期(2023年6月20日)	8,444	0	1.8	9,644	98.5	0.0	756
9期(2023年12月20日)	8,178	0	△3.2	9,378	99.5	0.0	602
10期(2024年6月20日)	8,020	0	△1.9	9,220	99.5	0.0	509
11期(2024年12月20日)	8,252	0	2.9	9,452	99.6	0.0	495

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	シュローダー・ グローバルCBファンド (少人数私募)為替ヘッジあり		債券 組入比率
			円	%	
(期首)2024年6月20日	8,020	—	99.5	0.0	
6月末	8,052	0.4	99.5	0.0	
7月末	8,057	0.5	99.7	0.0	
8月末	8,020	0.0	99.8	0.0	
9月末	8,208	2.3	100.0	0.0	
10月末	8,295	3.4	100.0	0.0	
11月末	8,405	4.8	100.2	0.0	
(期末)2024年12月20日	8,252	2.9	99.6	0.0	

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2024年6月21日～2024年12月20日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	千口 -	千円 -	千口 30,958	千円 30,350

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2024年6月21日～2024年12月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2024年12月20日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	比率
千口	千口	千円	%	
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	532,359	501,401	493,880	99.6
合計	532,359	501,401	493,880	99.6

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	
千口	千口	千円		
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	9	10	

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は1,346,696千口です。

投資信託財産の構成

2024年12月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
千円		%
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジあり	493,880	98.9
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	5,392	1.1
投資信託財産総額	499,283	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年12月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	499,283,656円
コール・ローン等	5,392,845
シュローダー・グローバルCBファンド(少人数私募) 為替ヘッジあり(評価額)	493,880,811
ニッセイマネーマーケットマザーファンド(評価額)	10,000
(B) 負債	3,562,603
未払解約金	718,690
未払信託報酬	2,816,265
その他の未払費用	27,648
(C) 純資産総額(A-B)	495,721,053
元本	600,735,084
次期繰越損益金	△105,014,031
(D) 受益権総口数	600,735,084口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,252円

(注1) 期首元本額 635,007,190円
 期中追加設定元本額 49,266円
 期中一部解約元本額 34,321,372円

(注2) 元本の次損
 純資産総額は元本額を下回っており、その差額は105,014,031円です。

損益の状況

当期 (2024年6月21日～2024年12月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益 受取利息	1,781円 1,781
(B) 有価証券売買損益 売買益 売買損	16,793,987 17,535,256 △ 741,269
(C) 信託報酬等	△ 2,843,913
(D) 当期損益金(A+B+C)	13,951,855
(E) 前期繰越損益金 (繰越欠損金)	△161,375,273 (△161,375,273)
(F) 追加信託差損益金* (配当等相当額) (売買損益相当額)	42,409,387 (16,823,067) (25,586,320)
(G) 合計(D+E+F) 次期繰越損益金(G)	△105,014,031 △105,014,031
追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額) 分配準備積立金 繰越欠損金	42,409,387 (16,823,067) (25,586,320) 1,497 △147,424,915

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,497円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	16,823,067円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	16,824,564円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	280.07円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)			(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	シュローダー・ グローバル CBファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	債券 組入比率	純資産 総額
		税引前 分配金	期中 騰落率				
7期(2022年12月20日)	9,954	0	4.3	11,654	98.5	0.0	881
8期(2023年6月20日)	10,687	100	8.4	12,487	98.5	0.0	944
9期(2023年12月20日)	10,334	300	△0.5	12,434	98.6	0.0	898
10期(2024年6月20日)	10,657	600	8.9	13,357	99.5	0.0	879
11期(2024年12月20日)	10,547	400	2.7	13,647	99.4	0.0	797

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額			シュローダー・ グローバルCBファンド (少人数私募)為替ヘッジなし	債券 組入比率
		騰落率	%		
(期首)2024年6月20日	10,657	—	—	99.5	0.0
6月末	10,858	1.9	99.4	0.0	
7月末	10,520	△1.3	99.6	0.0	
8月末	9,986	△6.3	99.7	0.0	
9月末	10,318	△3.2	100.1	0.0	
10月末	10,908	2.4	100.0	0.0	
11月末	10,940	2.7	100.0	0.0	
(期末)2024年12月20日	10,947	2.7	99.4	0.0	

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2024年6月21日～2024年12月20日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	千口 5,979	千円 8,860	千口 79,769	千円 117,490

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 —	千円 —

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2024年6月21日～2024年12月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2024年12月20日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	比率
千口 603,235	千口 529,445	千円 792,950		% 99.4
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし				
合計	603,235	529,445	792,950	99.4

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10	

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は1,346,696千口です。

投資信託財産の構成

2024年12月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
千円		%
シュローダー・グローバルCBファンド (少人数私募) 為替ヘッジなし	792,950	95.3
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	39,363	4.7
投資信託財産総額	832,323	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年12月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	832,323,746円
コール・ローン等	39,363,554
シュローダー・グローバルCBファンド(少人数私募) 為替ヘッジなし(評価額)	792,950,192
ニッセイマネーマーケットマザーファンド(評価額)	10,000
(B) 負債	34,945,147
未払収益分配金	30,242,026
未払信託報酬	4,657,327
その他の未払費用	45,794
(C) 純資産総額(A-B)	797,378,599
元本	756,050,672
次期繰越損益金	41,327,927
(D) 受益権総口数	756,050,672口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,547円

(注) 期首元本額 824,869,329円
 期中追加設定元本額 11,370,361円
 期中一部解約元本額 80,189,018円

損益の状況

当期 (2024年6月21日～2024年12月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益 受取利息	4,014円 4,014
(B) 有価証券売買損益 売買益 売買損	26,436,944 28,472,880 △ 2,035,936
(C) 信託報酬等	△ 4,703,121
(D) 当期損益金(A+B+C)	21,737,837
(E) 前期繰越損益金 (分配準備積立金)	19,591,476 (19,591,476)
(F) 追加信託差損益金* (配当等相当額) (売買損益相当額)	30,240,640 (24,690,177) (5,550,463)
(G) 合計(D+E+F)	71,569,953
(H) 収益分配金 次期繰越損益金(G+H)	△30,242,026 41,327,927
追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	30,240,640 (24,690,177) (5,550,463)
分配準備積立金	11,087,287

(注1) (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C) 信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E) 前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F) 追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,073円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	21,734,764円
(c) 信託約款に定める収益調整金	30,240,640円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	19,591,476円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	71,569,953円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	946.63円
(g) 分配金	30,242,026円
(h) 分配金 (1万口当たり)	400円

<課税上の取り扱いについて>

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 受益者は普通分配金に対し課税されます。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

各ファンドの概要

年2回決算型・為替ヘッジあり	年2回決算型・為替ヘッジなし
商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）
信託期間	2019年6月28日～2029年5月10日
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCB（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。 実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。
主要運用対象	<p>ニッセイ／シュローダー・グローバルCBファンド 「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募）為替ヘッジあり」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」</p> <p>シユローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし シユローダー・グローバルCBマザーファンド</p> <p>日本を含む世界のCB（転換社債）</p> <p>ニッセイマネーマーケットマザーファンド 円建ての短期公社債および短期金融商品</p>
運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないこともあります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）
信託期間	2019年7月1日から2029年5月10日まで
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	<p>当ファンド</p> <p>シュローダー・グローバルCBマザーファンド</p>
運用方法および組入制限	<p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none">・マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。・マザーファンド組入比率には制限を設けません。・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。また通貨によっては、主として米ドルを用いた代替ヘッジを行なうことがあります。
分配方針	<p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none">・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネジメント（スイス）AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3

丸の内トラストタワー本館21階

<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジあり

第5期 運用報告書(全体版)

(決算日 2024年5月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジあり」は、2024年5月10日に第5期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 (分配額)	価 額				新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 謄	中 落	
(設定日) 2019年7月1日	円 10,000		一	円	—	%	% 百万円 522
1期(2020年5月11日)	9,982		0	0	△ 0.2	96.2	1,011
2期(2021年5月10日)	12,034		0	0	20.6	93.9	3,788
3期(2022年5月10日)	10,027		0	0	△16.7	99.2	1,890
4期(2023年5月10日)	9,644		0	0	△ 3.8	99.3	1,645
5期(2024年5月10日)	9,596		0	0	△ 0.5	101.4	1,235

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額、税込み分配金は1万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価	額		新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率
		騰	落	率
(期 首) 2023年5月10日	円 9,644		—	% 99.3
5月末	9,647		0.0	101.6
6月末	9,799		1.6	102.5
7月末	9,922		2.9	97.0
8月末	9,613		△0.3	103.2
9月末	9,374		△2.8	94.8
10月末	9,065		△6.0	96.0
11月末	9,399		△2.5	98.3
12月末	9,755		1.2	93.7
2024年1月末	9,599		△0.5	100.2
2月末	9,622		△0.2	99.9
3月末	9,765		1.3	97.2
4月末	9,545		△1.0	101.9
(期 末) 2024年5月10日	9,596		△0.5	101.4

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

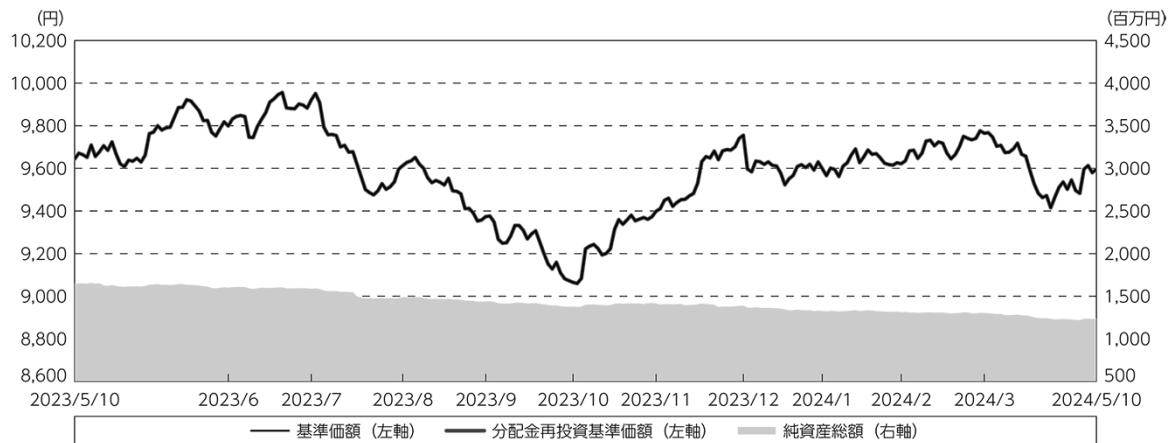
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2023年5月11日～2024年5月10日)

期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2023年5月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首9,644円でスタートした基準価額は、9,596円（分配後）で期末を迎え、期首比0.5%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

当期、C B市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、C B市場は追随しきれず、株式市場に対して劣後する局面や、株式市場の下落局面において、C B市場は下値抵抗力を発揮できない局面が見られましたが、期を通しては上昇となりました。一方で、当期、米金利が大きく上昇し、日米金利差が拡大したことにより連動してヘッジコストが上昇したため、為替ヘッジありの当ファンドにおいては、為替益を享受できず、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

当期初、主要国の株式市場は上昇しました。2023年5月以降、人工知能（A I）の話題が大きく後押し材料となり、大手ハイテク株を中心に上昇基調となりました。しかし8月から10月にかけては、米国経済のソフトランディングと金利が低下するとのシナリオに対する疑問が再び高まること、そしてイスラエル、パレスチナ情勢の悪化から地政学リスクが高まり、グローバルの株式市場は下落基調となりました。11月には米英の中央銀行が政策金利の据え置きを発表し、利上げ終了観測が高まることなどを背景に上昇に転じました。2024年1月に入るとやや勢いをなくしたものの、引き続き早期の利下げ観測後退の動きが継続し、引き続き堅調な推移となりました。4月には当面の利下げ観測が無い中、マクロ経済データが低調となり一時的に下落したものの、良好な経済指標を受けて、再び堅調な推移となりました。このような環境下、CB市場においては、金融セクターが軟調となったものの、その他の業種は堅調となり、特にインフォメーションテクノロジー、資本財・サービスセクターが堅調となりました。期を通しては上昇となりましたが、CBの特性である、株式市場に対する上昇追随力をやや欠いた動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象としているシュローダー・グローバルCBマザーファンドの運用について

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および日本を強気とした運用を行いました。

（格付はS & P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第5期
	2023年5月11日～ 2024年5月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	784

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き一部のインフレ圧力が根強い中、今年、中央銀行が利下げを行い、再び支援的な環境に入るという見方は変わっていません。新たな金利サイクルが始まろうとしている中、このサイクルを歴史的文脈に置くことが重要であると考えています。2022年、1980年代初頭以来の急ピッチな金利上昇を経験しました。そして多くのアナリストが驚いたことに、経済は好調となり、労働市場は回復力を維持し、米国の消費者は支出を続けました。しかしこのような環境は終わりを迎えると予想されます。

今後、これまで社債を発行してきた企業の借換え需要が高まり、社債よりはC Bの発行を通じた資金調達が増えると考えます。C Bは魅力的なクーポンおよび安価な株式オプションを提供することが可能なため、流動性の低下した環境下でも常に開かれた市場と言えます。一方で、ハイイールド社債の借換えは既に停滞が見られています。グローバル金融危機以降、C B市場はほぼ同じ時価総額を維持した一方で、ハイイールド債券市場は5倍に拡大しました。今後、多くの借換えが控えていますが、その借換えはさらに高い金利水準で行われ、信用条件もかなり厳しくなっています。

一方で、C Bは景気後退局面における株式下落に対する防御性を示すことが要求されますが、投資ユニバースにある銘柄の大部分はバランス型やディフェンシブ型であることから、当資産クラスについては、引き続き建設的であり、株式市場下落時における十分なプロテクションが組み込まれていると考えます。引き続き、市場では大手ハイテク企業の長期債の取引が活発ですが、これらの企業においてC Bの発行は行われていないことから、これら企業の後退時において、C Bのユニバースに影響を及ぼす可能性は極めて軽微といえます。全天候型商品といえるC Bにはより防御的な資産クラスとしての投資妙味があり、依然売られ過ぎの状況にあると考えます。この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2023年5月11日～2024年5月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 51	% 0.533	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(49)	(0.506)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
（販売会社）	(0)	(0.001)	・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
（受託会社）	(3)	(0.026)	・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) その他の費用	8	0.080	(b)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.030)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(2)	(0.017)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(2)	(0.016)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（その他の）	(1)	(0.017)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI : Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	59	0.613	
期中の平均基準価額は、9,592円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2023年5月11日～2024年5月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
シユローダー・グローバルCBマザーファンド	67,818	91,957	531,860	724,441

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年5月11日～2024年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年5月10日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
シユローダー・グローバルCBマザーファンド	千円 1,326,406	千円 862,364	千円 1,273,712

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年5月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
シユローダー・グローバルCBマザーファンド	千円 1,273,712	% 99.6
コール・ローン等、その他	5,036	0.4
投資信託財産総額	1,278,748	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シユローダー・グローバルCBマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,753,004千円)の投資信託財産総額(3,331,449千円)に対する比率は82.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、1米ドル=155.70円、1ユーロ=167.83円、1イスラエル=171.72円、1香港ドル=19.92円、1シンガポールドル=115.06円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年5月10日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	2,332,751,101
シュローダー・グローバルCBマザーファンド(評価額)	1,273,712,933
未収入金	1,059,038,168
(B) 負債	1,097,479,253
未払金	1,093,717,963
未払信託報酬	3,536,362
その他未払費用	224,928
(C) 純資産総額(A-B)	1,235,271,848
元本	1,287,242,309
次期繰越損益金	△ 51,970,461
(D) 受益権総口数	1,287,242,309口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,596円

[元本増減]

期首元本額	1,706,648,326円
期中追加設定元本額	12,573,382円
期中一部解約元本額	431,979,399円

(注) 当ファンドが主要投資対象としておりますシュローダー・グローバルCBマザーファンドは、外貨建資産等の運用の指図権限をシュローダー・インベストメント・マネージメント（スイス）AGに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○損益の状況（2023年5月11日～2024年5月10日）

項目	当期末
	円
(A) 有価証券売買損益	2,256,644
売買益	388,059,420
売買損	△385,802,776
(B) 信託報酬等	△ 8,116,100
(C) 当期損益金(A+B)	△ 5,859,456
(D) 前期繰越損益金	△210,607,885
(E) 追加信託差損益金	164,496,880
(配当等相当額)	(8,342,919)
(売買損益相当額)	(156,153,961)
(F) 計(C+D+E)	△ 51,970,461
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△ 51,970,461
追加信託差損益金	164,496,880
(配当等相当額)	(8,351,853)
(売買損益相当額)	(156,145,027)
分配準備積立金	92,584,550
繰越損益金	△309,051,891

(注) 損益の状況の中で(A) 有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,958,153円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(8,351,853円)および分配準備積立金(89,626,397円)より分配対象収益は100,936,403円(10,000口当たり784円)ですが、当期に分配した金額はありません。

〈シュローダー・グローバルCBマザーファンド 第5期〉

【計算期間 2023年5月11日から2024年5月10日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および組入制限	<ul style="list-style-type: none">・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント（イス）AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 謄 落 率		新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	純 資 産 額
		中	率		
(設定日) 2019年7月1日	円 10,000		% —	% —	百万円 1,040
1期(2020年5月11日)	9,986		△ 0.1	97.2	1,898
2期(2021年5月10日)	12,585		26.0	93.4	7,381
3期(2022年5月10日)	11,995		△ 4.7	97.0	4,083
4期(2023年5月10日)	12,534		4.5	98.3	3,785
5期(2024年5月10日)	14,770		17.8	98.3	3,305

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額は1万口当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	期 謄 落 率		新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	%
		騰	落		
(期 首) 2023年5月10日	円 12,534		% —		% 98.3
5月末	12,884		2.8		98.1
6月末	13,605		8.5		98.9
7月末	13,536		8.0		98.1
8月末	13,569		8.3		98.3
9月末	13,442		7.2		93.0
10月末	13,073		4.3		95.1
11月末	13,522		7.9		99.4
12月末	13,708		9.4		96.4
2024年1月末	13,945		11.3		97.5
2月末	14,280		13.9		98.1
3月末	14,595		16.4		96.1
4月末	14,751		17.7		98.4
(期 末) 2024年5月10日	14,770		17.8		98.3

(注) 基準価額は1万口当たり。

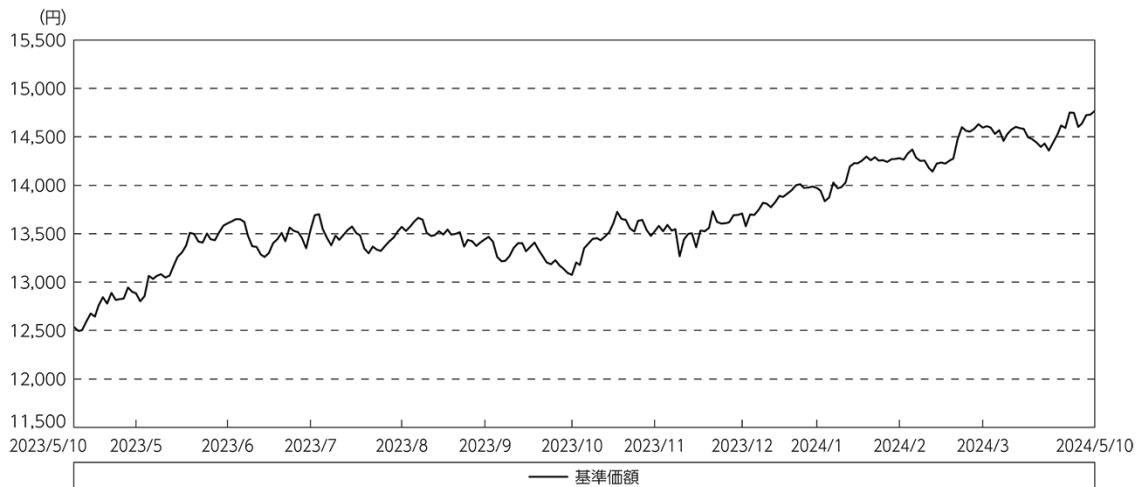
(注) 謄落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2023年5月11日～2024年5月10日)

期中の基準価額等の推移



（注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首12,534円でスタートした基準価額は、14,770円で期末を迎え、期首比17.8%の上昇となりました。当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対して劣後する局面や、株式市場の下落局面において、CB市場は下値抵抗力を発揮できない局面が見られましたが、期を通しては上昇となりました。一方で、当期、米金利が大きく上昇し、日米金利差が拡大したことにより連動してヘッジコストが上昇したため、為替ヘッジありの当ファンドにおいては、為替益を享受できず、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

当期初、主要国の株式市場は上昇しました。2023年5月以降、人工知能（AI）の話題が大きく後押し材料となり、大手ハイテク株を中心に上昇基調となりました。しかし8月から10月にかけては、米国経済のソフトランディングと金利が低下するとのシナリオに対する疑問が再び高まること、そしてイスラエル、パレスチナ情勢の悪化から地政学リスクが高まり、グローバルの株式市場は下落基調となりました。11月には米英の中央銀行が政策金利の据え置きを発表し、利上げ終了観測が高まることなどを背景に上昇に転じました。2024年1月に入るとやや勢いをなくしたものの、引き続き早期の利下げ観測後退の動きが継続し、引き続き堅調な推移となりました。4月には当面の利下げ観測が無い中、マクロ経済データが低調となり一時的に下落したものの、良好な経済指標を受けて、再び堅調な推移となりました。このような環境下、CB市場においては、金融セクターが軟調となったものの、その他の業種は堅調となり、特にインフォメーションテクノロジー、資本財・サービスセクターが堅調となりました。期を通しては上昇となりましたが、CBの特性である、株式市場に対する上昇追随力をやや欠いた動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および日本を強気とした運用を行いました。

(格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できぬ銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け(平均格付)については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。)

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○今後の運用方針

引き続き一部のインフレ圧力が根強い中、今年、中央銀行が利下げを行い、再び支援的な環境に入るという見方は変わっていません。新たな金利サイクルが始まろうとしている中、このサイクルを歴史的文脈に置くことが重要であると考えています。2022年、1980年代初頭以来の急ピッチな金利上昇を経験しました。そして多くのアナリストが驚いたことに、経済は好調となり、労働市場は回復力を維持し、米国の消費者は支出を続けました。しかしこのような環境は終わりを迎えると予想されます。

今後、これまで社債を発行してきた企業の借換え需要が高まり、社債よりはCBの発行を通じた資金調達が増えると考えます。CBは魅力的なクーポンおよび安価な株式オプションを提供する事が可能なため、流動性の低下した環境下でも常に開かれた市場と言えます。一方で、ハイイールド社債の借換えは既に停滞が見られています。グローバル金融危機以降、CB市場はほぼ同じ時価総額を維持した一方で、ハイイールド債券市場は5倍に拡大しました。今後、多くの借換えが控えていますが、その借換えはさらに高い金利水準で行われ、信用条件もかなり厳しくなっています。

一方で、CBは景気後退局面における株式下落に対する防御性を示すことが要求されますが、投資ユニバースにある銘柄の大部分はバランス型やディフェンシブ型であることから、当資産クラスについては、引き続き建設的であり、株式市場下落時における十分なプロテクションが組み込まれていると考えます。引き続き、市場では大手ハイテク企業の長期債の取引が活発ですが、これらの企業においてCBの発行は行われていないことから、これら企業の後退時において、CBのユニバースに影響を及ぼす可能性は極めて軽微といえます。全天候型商品といえるCBにはより防御的な資産クラスとしての投資妙味があり、依然売られ過ぎの状況にあると考えます。この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2023年5月11日～2024年5月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 6	% 0.045	(a) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、グローバルな取引主体識別子（L E I :Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
(保 管 費 用)	(4)	(0.030)	
(そ の 他)	(2)	(0.015)	
合 計	6	0.045	
期中の平均基準価額は、13,742円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2023年5月11日～2024年5月10日)

新株予約権付社債（転換社債）

		買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
国内		千円	千円	千円	千円
外 国	アメリカ	410,000	432,335	320,000 (20,000)	357,852 (20,000)
	ユーロ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
	ドイツ	6,596	6,856	9,974 (325)	10,804 (325)
	イタリア	400	400	600	745
	フランス	500	503	600	577
	オランダ	200	200	860	928
	スペイン	200	208	500	509
	ベルギー	300	297	900	1,007
	ルクセンブルク	—	—	100	90
	その他	100	100	200 (100)	254 (100)
スイス	スイス	100	104	100	135
	シンガポール	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン —	千スイスフラン 217
		—	—	160	250
		千シンガポールドル	千シンガポールドル	千シンガポールドル —	千シンガポールドル 232

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年5月11日～2024年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年5月10日現在)

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	当期額	期末	
		額面	千円
MERCARI INC 0% 28/07/14	20,000		16,187
NIPPON STEEL CORP 0% 26/10/05	10,000		14,042
CYBERAGENT INC 0% 29/11/16	40,000		39,475
PARK24 CO LTD 0% 28/02/24	20,000		19,170
FERROTEC HOLDINGS 0% 28/06/23	20,000		21,825
TOKYU CORP 0% 28/09/29	10,000		10,425
TOKYU CORP 0% 30/09/30	30,000		31,800
JFE HOLDINGS INC 0% 28/09/28	30,000		31,683
DAIFUKU CO 0% 30/09/13	20,000		23,617
TAIYO YUDEN CO LTD 0% 30/10/18	20,000		20,837
ANA HOLDINGS INC 0% 31/12/10	30,000		33,187
SOSEI GROUP COR 0.25% 28/12/14	10,000		11,199
KOBE STEEL LTD 0% 30/12/13	20,000		21,450
KOBE STEEL LTD 0% 28/12/14	10,000		10,657
OSG CORPORATION 0% 30/12/20	10,000		10,932
DAIWA HOUSE INDUST 0% 29/03/30	20,000		19,862
DAIWA HOUSE INDUST 0% 30/03/29	20,000		19,725
TAKASHIMAYA CO LTD 0% 28/12/06	10,000		11,725
KANSAI PAINT CO 0% 29/03/08	20,000		20,150
KANSAI PAINT CO 0% 31/03/07	20,000		19,719
IBIDEN CO LTD 0% 31/03/14	20,000		20,250
INFRONEER HOLDINGS 0% 29/03/30	10,000		10,026
ROHM CO LTD 0% 31/04/24	20,000		19,565
ROHM CO LTD 0% 29/04/24	10,000		9,937
SANRIO CO LTD 0% 28/12/14	10,000		12,567
RESONAC HOLDINGS C 0% 28/12/29	20,000		20,625
MENICON CO LTD 0% 25/01/29	10,000		9,960
合計	額面	・ 金額	490,000
	銘柄	数 < 比率 >	27 <15.4%>

(注) 評価額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	額面金額	当期末	
		評価額	外貨建金額
		邦貨換算金額	
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル
BIOMARIN PHARMA 1.25%CB	200	192	30,014
JAZZ INVESTMENTS 2% CB	200	194	30,291
ZSCALER INC. 0.125% CB	50	63	9,879
FIVE9 INC 0.5% CB	150	141	22,041
NICE LTD 0% CB	229	227	35,423
BOX INC 0% CB	35	40	6,231
BENTLEY SYS 0.125% CB	202	208	32,410
SHIFT4 PAYMENTS 0% CB	204	214	33,354
DROPBOX INC 0% CB	328	301	46,920
FORD MOTOR 0% CB	450	452	70,380
TYLER TECH 0.25% CB	200	215	33,506
M/A-COM TECH 0.25% CB	110	145	22,727
IONIS PHARMACEU 0% CB	100	95	14,904
PROGRESS SOFTWARE 1% CB	100	101	15,764
ZILLOW GROUP 0.75% CB	40	42	6,642
SEA LTD 2.375% CB	80	85	13,284
ZILLOW GROUP 1.375% CB	100	116	18,177
MIDDLEBY CORP 1.0% CB	125	144	22,537
LENOVO GROUP 2.5% CB	300	389	60,574
NCL CORP 1.125% CB	100	89	13,956
COINBASE GLOBAL 0.5% CB	125	127	19,783
WYNN MACAU 4.5% CB	200	222	34,651
L&F CO LTD 2.5% CB	200	133	20,847
DEXCOM INC 0.375% CB	417	426	66,403
BLOOM ENERGY 3.0% CB	153	142	22,114
IONIS PHARMA 1.75% CB	51	50	7,904
LUMENTUM HLDGS 1.5% CB	22	19	3,061
CONMED CORP 2.25% CB	29	25	4,030
ORMAT TECH 2.5% CB	100	98	15,297
LG CHEM LTD 1.6% CB	300	271	42,279
LG CHEM LTD 1.25% CB	300	284	44,228
TRANSMEDICS 1.5% CB	50	77	12,076
WORKIVA INC 1.25% CB	90	82	12,891
HALOZYME THER 1.0% CB	125	126	19,667
SEAGATE HDD CYM 3.5% CB	213	266	41,571
ALNYLAM PHARMA 1% CB	183	171	26,755
WOLFSPEED INC 1.75% CB	25	22	3,555

銘 柄	額 面 金 額	当 期 末	
		評 価 額	外貨建金額
		邦貨換算金額	
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル
SAREPTA THERAP 1.25% CB	200	234	36,578
ARRAY TECHNOLOG 1.0% CB	100	86	13,417
AKAMAI TECHNO 1.125% CB	50	49	7,755
NOG INC 3.625% CB	175	216	33,733
TAIWAN CEMENT CORP 0% CB	200	209	32,632
WESTERN DIGITAL 3.0% CB	84	129	20,089
UBER TECHNOLO 0.875% CB	250	286	44,646
WEIBO CORP 1.375% CB	73	76	11,934
MERIT MEDICAL 3.0% CB	62	69	10,889
LANTHEUS HLD 2.625% CB	165	199	31,091
ZTO EXPRESS KY 1.5% CB	150	145	22,683
GLOBAL PAYMENTS 1.5% CB	297	285	44,508
SUPER MICRO COM 0% CB	275	272	42,453
PROGRESS SOFT 3.5% CB	13	12	1,994
FIVE9 INC 1.0% CB	20	19	2,979
NEXTERA ENERGY 3.0% CB	143	167	26,027
SOUTHERN CO 3.875% CB	75	76	11,949
ON SEMICONDUCTOR 0.5%CB	483	473	73,793
IRHYTHM TECHNOL 1.5% CB	63	61	9,549
RIVIAN AUTO 4.625% CB	250	190	29,699
REPLIGEN CORP 1.0% CB	80	84	13,131
MICROSTRATEGY 0.875% CB	50	42	6,675
MICROSTRATEGY INC 0% CB	125	141	21,999
MICROSTRATEGY 0.625% CB	25	26	4,178
COINBASE GLOBAL 0.25% CB	125	116	18,090
KAKAO CORP 2.625% CB	200	208	32,502
EXACT SCIENCES 0.375% CB	125	111	17,316
AKAMAI TECHNOL 0.125% CB	300	339	52,855
SOUTHWEST AIR 1.25% CB	250	248	38,662
AMERICAN AIRLINES6.5% CB	150	168	26,232
STMICROELECTRO 0% CB	200	216	33,751
AKAMAI TECHNO 0.375% CB	100	103	16,043
ETSY INC CONV 0.125% CB	127	129	20,228
INSULET CORP 0.375% CB	185	193	30,064
LIBERTY MEDIA 0.5% CB	150	166	25,912
PDD HOLDINGS INC 0% CB	200	201	31,341
QIAGEN NV 0% CB	600	553	86,248

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄			当期末		
			額面金額	評価額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)			千米ドル	千米ドル	千円
LUMENTUM HOLD 0.5% CB			200	176	27,481
LIVE NATION ENTER 2% CB			90	95	14,875
ASAHI REFINING 0% CB			100	86	13,413
小計	額面・金額	12,396		12,688	1,975,557
	銘柄数 <比率>	77		—	<59.8%>
(ヨーロッパ・ドイツ)			千ユーロ	千ユーロ	千円
RAG-STIFTUNG 1.875% CB			200	219	36,800
RAG-STIFTUNG 2.25% CB			100	110	18,495
BECHTLE AG 2.0% CB			100	105	17,655
GLOBALWAFERS 1.5% CB			100	96	16,153
RAG-STIFTUNG 0% CB			200	193	32,491
DEUTSCHE LUFT 2% CB			100	100	16,903
小計	額面・金額	800		825	138,499
	銘柄数 <比率>	6		—	<4.2%>
(ヨーロッパ・イタリア)			千ユーロ	千ユーロ	千円
ENI SPA 2.95% CB			400	413	69,479
SAIPEM SPA 2.875% CB			100	132	22,257
PRYSMIAN SPA 0% CB			100	136	22,974
小計	額面・金額	600		683	114,711
	銘柄数 <比率>	3		—	<3.5%>
(ヨーロッパ・フランス)			千ユーロ	千ユーロ	千円
SAFRAN SA 0% CB			93	114	19,178
UBISOFT 2.375% CB			100	98	16,564
SPIE SA 2.0% CB			100	120	20,144
SOITEC 0% CB			69	66	11,114
SCHNEIDER ELECTRIC 0% CB			155	204	34,294
ACCOR SA CONV 0.7% CB			140	147	24,794
小計	額面・金額	659		751	126,090
	銘柄数 <比率>	6		—	<3.8%>
(ヨーロッパ・オランダ)			千ユーロ	千ユーロ	千円
DAVIDE CAMPARI 2.375% CB			100	104	17,572
MERRILL LYNCH BV 0% CB			100	109	18,324
小計	額面・金額	200		213	35,896
	銘柄数 <比率>	2		—	<1.1%>
(ヨーロッパ・スペイン)			千ユーロ	千ユーロ	千円
IBERDROLA FINAN 0.8% CB			200	206	34,712
CELLNEX TELECOM 0.5% CB			200	208	34,947
AMADEUS IT GROUP 1.5% CB			100	118	19,922
小計	額面・金額	500		533	89,582
	銘柄数 <比率>	3		—	<2.7%>

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄		当期末		
		額面金額	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・オーストリア) VOESTALPINE 2.75% CB		千ユーロ 100	千ユーロ 95	千円 15,981
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	100 1	95 —	15,981 <0.5%>
(ユーロ・・・ルクセンブルク) LAGFIN SCA 3.5% CB		千ユーロ 100	千ユーロ 97	千円 16,279
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	100 1	97 —	16,279 <0.5%>
(ユーロ・・・その他) FOMENTO ECONO 2.625% CB POSCO 0% CB ANLLIAN CAPITAL 0% CB		千ユーロ 100 100 400	千ユーロ 99 103 427	千円 16,674 17,286 71,730
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	600 3	629 —	105,691 <3.2%>
ユーロ計	額面・金額 銘柄数 <比率>	3,559 25	3,829 —	642,734 <19.4%>
(香港) KINGSOFT CORP 0.625% CB CATHAY PACIFIC 2.75% CB		千香港ドル 2,000 2,000	千香港ドル 2,093 2,178	千円 41,703 43,385
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	4,000 2	4,271 —	85,089 <2.6%>
(シンガポール) SINGAPORE AIR 1.625% CB		千シンガポールドル 250	千シンガポールドル 321	千円 36,993
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	250 1	321 —	36,993 <1.1%>
合計	額面・金額 銘柄数 <比率>	— 105	— —	2,740,374 <82.9%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) <>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年5月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
新株予約権付社債(転換社債)	千円 3,250,979	% 97.6
コール・ローン等、その他	80,470	2.4
投資信託財産総額	3,331,449	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(2,753,004千円)の投資信託財産総額(3,331,449千円)に対する比率は82.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信買賣相場の仲値により邦貨換算したもので、1米ドル=155.70円、1ユーロ=167.83円、1スイスフラン=171.72円、1香港ドル=19.92円、1シンガポールドル=115.06円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年5月10日現在)

項目	当期末
(A) 資産	
コール・ローン等	3,331,449,197
公社債(評価額)	71,169,950
未収利息	3,250,979,377
前払費用	8,711,197
(B) 負債	588,673
未払金	25,559,999
未払解約金	20,500,000
(C) 純資産総額(A-B)	5,059,999
元本	3,305,889,198
次期繰越損益金	2,238,287,239
(D) 受益権総口数	1,067,601,959
1万口当たり基準価額(C/D)	2,238,287,239円
	14,770円

[元本増減]

期首元本額 3,019,878,388円

期中追加設定元本額 103,938,204円

期中一部解約元本額 885,529,353円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・グローバルC B ファンド(少人数私募) 為替ヘッジあり
862,364,884円シュローダー・グローバルC B ファンド(少人数私募) 為替ヘッジなし
1,375,922,355円

○損益の状況 (2023年5月11日～2024年5月10日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 31,940,040
受取利息	31,980,251
支払利息	△ 40,211
(B) 有価証券売買損益	556,984,742
売買益	777,112,222
売買損	△ 220,127,480
(C) 保管費用等	△ 1,640,008
(D) 当期損益金(A+B+C)	587,284,774
(E) 前期繰越損益金	765,253,237
(F) 追加信託差損益金	37,749,185
(G) 解約差損益金	△ 322,685,237
(H) 計(D+E+F+G)	1,067,601,959
	次期繰越損益金(H)
	1,067,601,959

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）				
信託期間	2019年7月1日から2029年5月10日まで				
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。				
主要投資対象	<table border="1"><tr><td>当ファンド</td><td>・ シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。</td></tr><tr><td>シュローダー・グローバルCBマザーファンド</td><td>・ 世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。</td></tr></table>	当ファンド	・ シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	・ 世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
当ファンド	・ シュローダー・グローバルCBマザーファンドの受益証券を主な投資対象とします。				
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	・ 世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。				
運用方法および組入制限	<table border="1"><tr><td>当ファンド</td><td><ul style="list-style-type: none">・ マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。・ マザーファンド組入比率には制限を設けません。・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</td></tr><tr><td>シュローダー・グローバルCBマザーファンド</td><td><ul style="list-style-type: none">・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・ 運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネジメント（スイス）AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。</td></tr></table>	当ファンド	<ul style="list-style-type: none">・ マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。・ マザーファンド組入比率には制限を設けません。・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	シュローダー・グローバルCBマザーファンド	<ul style="list-style-type: none">・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・ 運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネジメント（スイス）AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。
当ファンド	<ul style="list-style-type: none">・ マザーファンド受益証券への投資を通じて運用を行います。・ マザーファンド組入比率には制限を設けません。・ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。				
シュローダー・グローバルCBマザーファンド	<ul style="list-style-type: none">・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・ 運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネジメント（スイス）AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。				
分配方針	年1回の毎決算時（毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、収益分配を行わない場合があります。				

シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジなし

第5期 運用報告書（全体版）

（決算日 2024年5月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバルCBファンド（少人数私募） 為替ヘッジなし」は、2024年5月10日に第5期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3

丸の内トラストタワー本館21階

<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・ 投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・ 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 (分配額)	価 額				新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 謄	中 落	
(設定日) 2019年7月1日	円 10,000			円 一		% 一	% 一
1期(2020年5月11日)	9,937		0		△ 0.6	97.4	895
2期(2021年5月10日)	12,456		0		25.3	93.6	3,561
3期(2022年5月10日)	11,806		0		△ 5.2	97.3	2,143
4期(2023年5月10日)	12,268		0		3.9	98.5	2,116
5期(2024年5月10日)	14,378		0		17.2	98.6	2,026

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額、税込み分配金は1万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価	額		新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率	
		騰	落	率	
(期 首) 2023年5月10日	円 12,268			% 一	% 98.5
5月末	12,607			2.8	98.1
6月末	13,307			8.5	99.0
7月末	13,233			7.9	98.3
8月末	13,259			8.1	98.5
9月末	13,129			7.0	93.3
10月末	12,761			4.0	95.4
11月末	13,194			7.5	99.5
12月末	13,370			9.0	96.5
2024年1月末	13,595			10.8	97.6
2月末	13,915			13.4	98.3
3月末	14,217			15.9	96.3
4月末	14,362			17.1	98.7
(期 末) 2024年5月10日	14,378			17.2	98.6

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

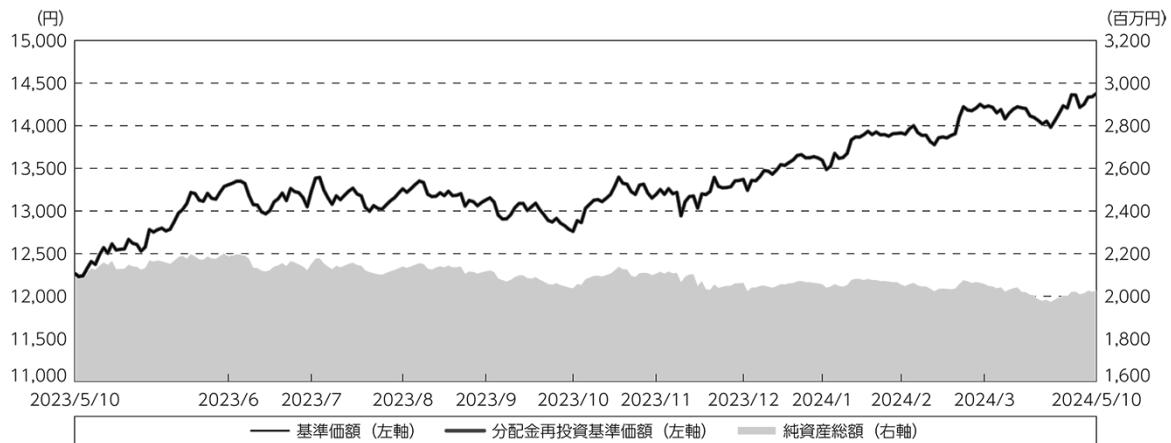
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、新株予約権付社債（転換社債）組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2023年5月11日～2024年5月10日)

期中の基準価額等の推移



期 首：12,268円

期 末：14,378円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 17.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2023年5月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首12,268円でスタートした基準価額は、14,378円（分配後）で期末を迎え、期首比17.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対して劣後する局面や、株式市場の下落局面において、CB市場は下値抵抗力を発揮できない局面が見られましたが、期を通しては上昇となりました。また、当期、期を通して円安ドル高が進んだことも、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境

当期初、主要国の株式市場は上昇しました。2023年5月以降、人工知能（A I）の話題が大きく後押し材料となり、大手ハイテク株を中心に上昇基調となりました。しかし8月から10月にかけては、米国経済のソフトランディングと金利が低下するとのシナリオに対する疑問が再び高まること、そしてイスラエル、パレスチナ情勢の悪化から地政学リスクが高まり、グローバルの株式市場は下落基調となりました。11月には米英の中央銀行が政策金利の据え置きを発表し、利上げ終了観測が高まることなどを背景に上昇に転じました。2024年1月に入るとやや勢いをなくしたものの、引き続き早期の利下げ観測後退の動きが継続し、引き続き堅調な推移となりました。4月には当面の利下げ観測が無い中、マクロ経済データが低調となり一時的に下落したものの、良好な経済指標を受けて、再び堅調な推移となりました。このような環境下、CB市場においては、金融セクターが軟調となったものの、その他の業種は堅調となり、特にインフォメーションテクノロジー、資本財・サービスセクターが堅調となりました。期を通しては上昇となりましたが、CBの特性である、株式市場に対する上昇追随力をやや欠いた動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象としているシュローダー・グローバルCBマザーファンドの運用について

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および日本を強気とした運用を行いました。

（格付はS & P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第5期
	2023年5月11日～ 2024年5月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,378

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き一部のインフレ圧力が根強い中、今年、中央銀行が利下げを行い、再び支援的な環境に入るという見方は変わっていません。新たな金利サイクルが始まろうとしている中、このサイクルを歴史的文脈に置くことが重要であると考えています。2022年、1980年代初頭以来の急ピッチな金利上昇を経験しました。そして多くのアナリストが驚いたことに、経済は好調となり、労働市場は回復力を維持し、米国の消費者は支出を続けました。しかしこのような環境は終わりを迎えると予想されます。

今後、これまで社債を発行してきた企業の借換え需要が高まり、社債よりはC Bの発行を通じた資金調達が増えると考えます。C Bは魅力的なクーポンおよび安価な株式オプションを提供することが可能なため、流動性の低下した環境下でも常に開かれた市場と言えます。一方で、ハイイールド社債の借換えは既に停滞が見られています。グローバル金融危機以降、C B市場はほぼ同じ時価総額を維持した一方で、ハイイールド債券市場は5倍に拡大しました。今後、多くの借換えが控えていますが、その借換えはさらに高い金利水準で行われ、信用条件もかなり厳しくなっています。

一方で、C Bは景気後退局面における株式下落に対する防御性を示すことが要求されますが、投資ユニバースにある銘柄の大部分はバランス型やディフェンシブ型であることから、当資産クラスについては、引き続き建設的であり、株式市場下落時における十分なプロテクションが組み込まれていると考えます。引き続き、市場では大手ハイテク企業の長期債の取引が活発ですが、これらの企業においてC Bの発行は行われていないことから、これら企業の後退時において、C Bのユニバースに影響を及ぼす可能性は極めて軽微といえます。全天候型商品といえるC Bにはより防御的な資産クラスとしての投資妙味があり、依然売られ過ぎの状況にあると考えます。この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2023年5月11日～2024年5月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 72	% 0.533	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(68)	(0.506)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
（販売会社）	(0)	(0.001)	・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
（受託会社）	(4)	(0.026)	・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) その他の費用	10	0.074	(b)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.030)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(2)	(0.015)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(2)	(0.014)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（その他の）	(2)	(0.015)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI : Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	82	0.607	
期中の平均基準価額は、13,412円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2023年5月11日～2024年5月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
千円	千円	千円	千円	千円
シユローダー・グローバルC B マザーファンド	36,119	49,730	353,668	483,772

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年5月11日～2024年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年5月10日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
千円	千円	千円	千円
シユローダー・グローバルC B マザーファンド	1,693,471	1,375,922	2,032,237

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年5月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
千円	%	
シユローダー・グローバルC B マザーファンド	2,032,237	99.8
コール・ローン等、その他	5,060	0.2
投資信託財産総額	2,037,297	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シユローダー・グローバルC B マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,753,004千円)の投資信託財産総額(3,331,449千円)に対する比率は82.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、1米ドル=155.70円、1ユーロ=167.83円、1スイスフラン=171.72円、1香港ドル=19.92円、1シンガポールドル=115.06円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年5月10日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	2,037,297,317
シェローダー・グローバルCBマザーファンド(評価額)	2,032,237,318
未収入金	5,059,999
(B) 負債	10,798,578
未払解約金	5,059,999
未払信託報酬	5,453,380
その他未払費用	285,199
(C) 純資産総額(A-B)	2,026,498,739
元本	1,409,408,871
次期繰越損益金	617,089,868
(D) 受益権総口数	1,409,408,871口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,378円

〔元本増減〕

期首元本額	1,725,378,780円
期中追加設定元本額	37,010,278円
期中一部解約元本額	352,980,187円

○損益の状況（2023年5月11日～2024年5月10日）

項目	当期末
	円
(A) 有価証券売買損益	305,218,989
売買益	341,846,747
売買損	△ 36,627,758
(B) 信託報酬等	△ 11,764,285
(C) 当期損益金(A+B)	293,454,704
(D) 前期繰越損益金	109,354,102
(E) 追加信託差損益金	214,281,062
(配当等相当額)	(24,878,447)
(売買損益相当額)	(189,402,615)
(F) 計(C+D+E)	617,089,868
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	617,089,868
追加信託差損益金	214,281,062
(配当等相当額)	(24,911,147)
(売買損益相当額)	(189,369,915)
分配準備積立金	402,808,806

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(16,216,239円)、費用控除後の有価証券等損益額(241,636,534円)、信託約款に規定する収益調整金(214,281,062円)および分配準備積立金(144,956,033円)より分配対象収益は617,089,868円(10,000口当たり4,378円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドが主要投資対象としておりますシュローダー・グローバルCBマザーファンドは、外貨建資産等の運用の指図権限をシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGに委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

〈シュローダー・グローバルCBマザーファンド 第5期〉

【計算期間 2023年5月11日から2024年5月10日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年5月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	世界（日本を含む）の転換社債を主な投資対象とします。
運用方法および組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント（イス）AGに外貨建資産等の運用の指図に関する権限を委託します。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 謄 落 率		新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	純 資 産 額
		中 率	率		
(設定日) 2019年7月1日	円 10,000		% —	% —	百万円 1,040
1期(2020年5月11日)	9,986		△ 0.1	97.2	1,898
2期(2021年5月10日)	12,585		26.0	93.4	7,381
3期(2022年5月10日)	11,995		△ 4.7	97.0	4,083
4期(2023年5月10日)	12,534		4.5	98.3	3,785
5期(2024年5月10日)	14,770		17.8	98.3	3,305

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額は1万口当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	期 謄 落 率		新株予約権付社債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	%
		騰	落		
(期 首) 2023年5月10日	円 12,534		% —		% 98.3
5月末	12,884		2.8		98.1
6月末	13,605		8.5		98.9
7月末	13,536		8.0		98.1
8月末	13,569		8.3		98.3
9月末	13,442		7.2		93.0
10月末	13,073		4.3		95.1
11月末	13,522		7.9		99.4
12月末	13,708		9.4		96.4
2024年1月末	13,945		11.3		97.5
2月末	14,280		13.9		98.1
3月末	14,595		16.4		96.1
4月末	14,751		17.7		98.4
(期 末) 2024年5月10日	14,770		17.8		98.3

(注) 基準価額は1万口当たり。

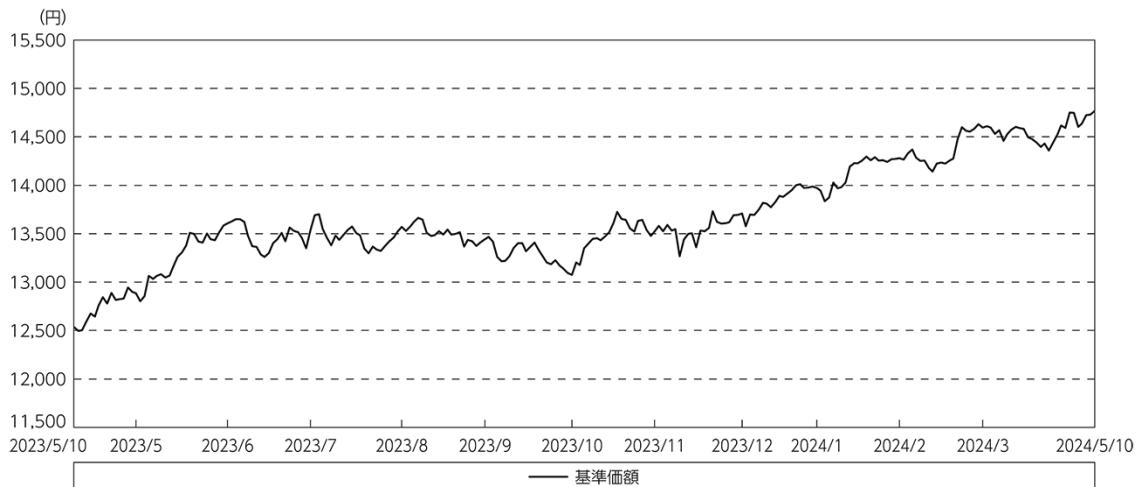
(注) 謄落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2023年5月11日～2024年5月10日)

期中の基準価額等の推移



（注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首12,534円でスタートした基準価額は、14,770円で期末を迎え、期首比17.8%の上昇となりました。当期、CB市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、CB市場は追随しきれず、株式市場に対して劣後する局面や、株式市場の下落局面において、CB市場は下値抵抗力を発揮できない局面が見られましたが、期を通しては上昇となりました。一方で、当期、米金利が大きく上昇し、日米金利差が拡大したことにより連動してヘッジコストが上昇したため、為替ヘッジありの当ファンドにおいては、為替益を享受できず、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

当期初、主要国の株式市場は上昇しました。2023年5月以降、人工知能（AI）の話題が大きく後押し材料となり、大手ハイテク株を中心に上昇基調となりました。しかし8月から10月にかけては、米国経済のソフトランディングと金利が低下するとのシナリオに対する疑問が再び高まること、そしてイスラエル、パレスチナ情勢の悪化から地政学リスクが高まり、グローバルの株式市場は下落基調となりました。11月には米英の中央銀行が政策金利の据え置きを発表し、利上げ終了観測が高まることなどを背景に上昇に転じました。2024年1月に入るとやや勢いをなくしたものの、引き続き早期の利下げ観測後退の動きが継続し、引き続き堅調な推移となりました。4月には当面の利下げ観測が無い中、マクロ経済データが低調となり一時的に下落したものの、良好な経済指標を受けて、再び堅調な推移となりました。このような環境下、CB市場においては、金融セクターが軟調となったものの、その他の業種は堅調となり、特にインフォメーションテクノロジー、資本財・サービスセクターが堅調となりました。期を通しては上昇となりましたが、CBの特性である、株式市場に対する上昇追随力をやや欠いた動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略とし、ポートフォリオ全体の格付けについてはBB+格としています。また、CB市場の非効率性を捉え、割安と考える銘柄に対する選別投資を実施しました。セクター別ではインフォメーションテクノロジーの組入比率を引き続き高位としています。また、国別においては米国および日本を強気とした運用を行いました。

(格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できぬ銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け(平均格付)については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。)

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○今後の運用方針

引き続き一部のインフレ圧力が根強い中、今年、中央銀行が利下げを行い、再び支援的な環境に入るという見方は変わっていません。新たな金利サイクルが始まろうとしている中、このサイクルを歴史的文脈に置くことが重要であると考えています。2022年、1980年代初頭以来の急ピッチな金利上昇を経験しました。そして多くのアナリストが驚いたことに、経済は好調となり、労働市場は回復力を維持し、米国の消費者は支出を続けました。しかしこのような環境は終わりを迎えると予想されます。

今後、これまで社債を発行してきた企業の借換え需要が高まり、社債よりはCBの発行を通じた資金調達が増えると考えます。CBは魅力的なクーポンおよび安価な株式オプションを提供する事が可能なため、流動性の低下した環境下でも常に開かれた市場と言えます。一方で、ハイイールド社債の借換えは既に停滞が見られています。グローバル金融危機以降、CB市場はほぼ同じ時価総額を維持した一方で、ハイイールド債券市場は5倍に拡大しました。今後、多くの借換えが控えていますが、その借換えはさらに高い金利水準で行われ、信用条件もかなり厳しくなっています。

一方で、CBは景気後退局面における株式下落に対する防御性を示すことが要求されますが、投資ユニバースにある銘柄の大部分はバランス型やディフェンシブ型であることから、当資産クラスについては、引き続き建設的であり、株式市場下落時における十分なプロテクションが組み込まれていると考えます。引き続き、市場では大手ハイテク企業の長期債の取引が活発ですが、これらの企業においてCBの発行は行われていないことから、これら企業の後退時において、CBのユニバースに影響を及ぼす可能性は極めて軽微といえます。全天候型商品といえるCBにはより防御的な資産クラスとしての投資妙味があり、依然売られ過ぎの状況にあると考えます。この先も市場の動向を注視しつつ、引き続き魅力的な銘柄を追求する方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2023年5月11日～2024年5月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 6	% 0.045	(a) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、グローバルな取引主体識別子（L E I :Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
(保 管 費 用)	(4)	(0.030)	
(そ の 他)	(2)	(0.015)	
合 計	6	0.045	
期中の平均基準価額は、13,742円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2023年5月11日～2024年5月10日)

新株予約権付社債（転換社債）

		買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
国内		千円	千円	千円	千円
外 国	アメリカ	410,000	432,335	320,000 (20,000)	357,852 (20,000)
	ユーロ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
	ドイツ	6,596	6,856	9,974 (325)	10,804 (325)
	イタリア	400	400	600	745
	フランス	500	503	600	577
	オランダ	200	200	860	928
	スペイン	200	208	500	509
	ベルギー	300	297	900	1,007
	ルクセンブルク	—	—	100	90
	その他	100	100	200 (100)	254 (100)
スイス	スイス	100	104	100	135
	シンガポール	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン —	千スイスフラン 217
		—	—	160	250
		千シンガポールドル	千シンガポールドル	千シンガポールドル —	千シンガポールドル 232

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年5月11日～2024年5月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年5月10日現在)

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	当期額	期末	
		額面	千円
MERCARI INC 0% 28/07/14	20,000		16,187
NIPPON STEEL CORP 0% 26/10/05	10,000		14,042
CYBERAGENT INC 0% 29/11/16	40,000		39,475
PARK24 CO LTD 0% 28/02/24	20,000		19,170
FERROTEC HOLDINGS 0% 28/06/23	20,000		21,825
TOKYU CORP 0% 28/09/29	10,000		10,425
TOKYU CORP 0% 30/09/30	30,000		31,800
JFE HOLDINGS INC 0% 28/09/28	30,000		31,683
DAIFUKU CO 0% 30/09/13	20,000		23,617
TAIYO YUDEN CO LTD 0% 30/10/18	20,000		20,837
ANA HOLDINGS INC 0% 31/12/10	30,000		33,187
SOSEI GROUP COR 0.25% 28/12/14	10,000		11,199
KOBE STEEL LTD 0% 30/12/13	20,000		21,450
KOBE STEEL LTD 0% 28/12/14	10,000		10,657
OSG CORPORATION 0% 30/12/20	10,000		10,932
DAIWA HOUSE INDUST 0% 29/03/30	20,000		19,862
DAIWA HOUSE INDUST 0% 30/03/29	20,000		19,725
TAKASHIMAYA CO LTD 0% 28/12/06	10,000		11,725
KANSAI PAINT CO 0% 29/03/08	20,000		20,150
KANSAI PAINT CO 0% 31/03/07	20,000		19,719
IBIDEN CO LTD 0% 31/03/14	20,000		20,250
INFRONEER HOLDINGS 0% 29/03/30	10,000		10,026
ROHM CO LTD 0% 31/04/24	20,000		19,565
ROHM CO LTD 0% 29/04/24	10,000		9,937
SANRIO CO LTD 0% 28/12/14	10,000		12,567
RESONAC HOLDINGS C 0% 28/12/29	20,000		20,625
MENICON CO LTD 0% 25/01/29	10,000		9,960
合計	額面	・ 金額	490,000
	銘柄	数 < 比率 >	27 <15.4%>

(注) 評価額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	額面金額	当期末	
		評価額	外貨建金額
		邦貨換算金額	
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル
BIOMARIN PHARMA 1.25%CB	200	192	30,014
JAZZ INVESTMENTS 2% CB	200	194	30,291
ZSCALER INC. 0.125% CB	50	63	9,879
FIVE9 INC 0.5% CB	150	141	22,041
NICE LTD 0% CB	229	227	35,423
BOX INC 0% CB	35	40	6,231
BENTLEY SYS 0.125% CB	202	208	32,410
SHIFT4 PAYMENTS 0% CB	204	214	33,354
DROPBOX INC 0% CB	328	301	46,920
FORD MOTOR 0% CB	450	452	70,380
TYLER TECH 0.25% CB	200	215	33,506
M/A-COM TECH 0.25% CB	110	145	22,727
IONIS PHARMACEU 0% CB	100	95	14,904
PROGRESS SOFTWARE 1% CB	100	101	15,764
ZILLOW GROUP 0.75% CB	40	42	6,642
SEA LTD 2.375% CB	80	85	13,284
ZILLOW GROUP 1.375% CB	100	116	18,177
MIDDLEBY CORP 1.0% CB	125	144	22,537
LENOVO GROUP 2.5% CB	300	389	60,574
NCL CORP 1.125% CB	100	89	13,956
COINBASE GLOBAL 0.5% CB	125	127	19,783
WYNN MACAU 4.5% CB	200	222	34,651
L&F CO LTD 2.5% CB	200	133	20,847
DEXCOM INC 0.375% CB	417	426	66,403
BLOOM ENERGY 3.0% CB	153	142	22,114
IONIS PHARMA 1.75% CB	51	50	7,904
LUMENTUM HLDGS 1.5% CB	22	19	3,061
CONMED CORP 2.25% CB	29	25	4,030
ORMAT TECH 2.5% CB	100	98	15,297
LG CHEM LTD 1.6% CB	300	271	42,279
LG CHEM LTD 1.25% CB	300	284	44,228
TRANSMEDICS 1.5% CB	50	77	12,076
WORKIVA INC 1.25% CB	90	82	12,891
HALOZYME THER 1.0% CB	125	126	19,667
SEAGATE HDD CYM 3.5% CB	213	266	41,571
ALNYLAM PHARMA 1% CB	183	171	26,755
WOLFSPEED INC 1.75% CB	25	22	3,555

銘 柄	額 面 金 額	当 期 末	
		評 価 額	外貨建金額
		邦貨換算金額	
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル
SAREPTA THERAP 1.25% CB	200	234	36,578
ARRAY TECHNOLOG 1.0% CB	100	86	13,417
AKAMAI TECHNO 1.125% CB	50	49	7,755
NOG INC 3.625% CB	175	216	33,733
TAIWAN CEMENT CORP 0% CB	200	209	32,632
WESTERN DIGITAL 3.0% CB	84	129	20,089
UBER TECHNOLO 0.875% CB	250	286	44,646
WEIBO CORP 1.375% CB	73	76	11,934
MERIT MEDICAL 3.0% CB	62	69	10,889
LANTHEUS HLD 2.625% CB	165	199	31,091
ZTO EXPRESS KY 1.5% CB	150	145	22,683
GLOBAL PAYMENTS 1.5% CB	297	285	44,508
SUPER MICRO COM 0% CB	275	272	42,453
PROGRESS SOFT 3.5% CB	13	12	1,994
FIVE9 INC 1.0% CB	20	19	2,979
NEXTERA ENERGY 3.0% CB	143	167	26,027
SOUTHERN CO 3.875% CB	75	76	11,949
ON SEMICONDUCTOR 0.5%CB	483	473	73,793
IRHYTHM TECHNOL 1.5% CB	63	61	9,549
RIVIAN AUTO 4.625% CB	250	190	29,699
REPLIGEN CORP 1.0% CB	80	84	13,131
MICROSTRATEGY 0.875% CB	50	42	6,675
MICROSTRATEGY INC 0% CB	125	141	21,999
MICROSTRATEGY 0.625% CB	25	26	4,178
COINBASE GLOBAL 0.25% CB	125	116	18,090
KAKAO CORP 2.625% CB	200	208	32,502
EXACT SCIENCES 0.375% CB	125	111	17,316
AKAMAI TECHNOL 0.125% CB	300	339	52,855
SOUTHWEST AIR 1.25% CB	250	248	38,662
AMERICAN AIRLINES6.5% CB	150	168	26,232
STMICROELECTRO 0% CB	200	216	33,751
AKAMAI TECHNO 0.375% CB	100	103	16,043
ETSY INC CONV 0.125% CB	127	129	20,228
INSULET CORP 0.375% CB	185	193	30,064
LIBERTY MEDIA 0.5% CB	150	166	25,912
PDD HOLDINGS INC 0% CB	200	201	31,341
QIAGEN NV 0% CB	600	553	86,248

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄			当期末		
			額面金額	評価額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)			千米ドル	千米ドル	千円
LUMENTUM HOLD 0.5% CB		200		176	27,481
LIVE NATION ENTER 2% CB		90		95	14,875
ASAHI REFINING 0% CB		100		86	13,413
小計	額面・金額	12,396		12,688	1,975,557
	銘柄数 <比率>	77		—	<59.8%>
(ヨーロッパ・ドイツ)		千ユーロ	千ユーロ	千円	
RAG-STIFTUNG 1.875% CB		200		219	36,800
RAG-STIFTUNG 2.25% CB		100		110	18,495
BECHTLE AG 2.0% CB		100		105	17,655
GLOBALWAFERS 1.5% CB		100		96	16,153
RAG-STIFTUNG 0% CB		200		193	32,491
DEUTSCHE LUFT 2% CB		100		100	16,903
小計	額面・金額	800		825	138,499
	銘柄数 <比率>	6		—	<4.2%>
(ヨーロッパ・イタリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円	
ENI SPA 2.95% CB		400		413	69,479
SAIPEM SPA 2.875% CB		100		132	22,257
PRYSMIAN SPA 0% CB		100		136	22,974
小計	額面・金額	600		683	114,711
	銘柄数 <比率>	3		—	<3.5%>
(ヨーロッパ・フランス)		千ユーロ	千ユーロ	千円	
SAFRAN SA 0% CB		93		114	19,178
UBISOFT 2.375% CB		100		98	16,564
SPIE SA 2.0% CB		100		120	20,144
SOITEC 0% CB		69		66	11,114
SCHNEIDER ELECTRIC 0% CB		155		204	34,294
ACCOR SA CONV 0.7% CB		140		147	24,794
小計	額面・金額	659		751	126,090
	銘柄数 <比率>	6		—	<3.8%>
(ヨーロッパ・オランダ)		千ユーロ	千ユーロ	千円	
DAVIDE CAMPARI 2.375% CB		100		104	17,572
MERRILL LYNCH BV 0% CB		100		109	18,324
小計	額面・金額	200		213	35,896
	銘柄数 <比率>	2		—	<1.1%>
(ヨーロッパ・スペイン)		千ユーロ	千ユーロ	千円	
IBERDROLA FINAN 0.8% CB		200		206	34,712
CELLNEX TELECOM 0.5% CB		200		208	34,947
AMADEUS IT GROUP 1.5% CB		100		118	19,922
小計	額面・金額	500		533	89,582
	銘柄数 <比率>	3		—	<2.7%>

シュローダー・グローバルCBマザーファンド

銘柄		当期末		
		額面金額	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・オーストリア) VOESTALPINE 2.75% CB		千ユーロ 100	千ユーロ 95	千円 15,981
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	100 1	95 —	15,981 <0.5%>
(ユーロ・・・ルクセンブルク) LAGFIN SCA 3.5% CB		千ユーロ 100	千ユーロ 97	千円 16,279
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	100 1	97 —	16,279 <0.5%>
(ユーロ・・・その他) FOMENTO ECONO 2.625% CB POSCO 0% CB ANLLIAN CAPITAL 0% CB		千ユーロ 100 100 400	千ユーロ 99 103 427	千円 16,674 17,286 71,730
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	600 3	629 —	105,691 <3.2%>
ユーロ計	額面・金額 銘柄数 <比率>	3,559 25	3,829 —	642,734 <19.4%>
(香港) KINGSOFT CORP 0.625% CB CATHAY PACIFIC 2.75% CB		千香港ドル 2,000 2,000	千香港ドル 2,093 2,178	千円 41,703 43,385
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	4,000 2	4,271 —	85,089 <2.6%>
(シンガポール) SINGAPORE AIR 1.625% CB		千シンガポールドル 250	千シンガポールドル 321	千円 36,993
小計	額面・金額 銘柄数 <比率>	250 1	321 —	36,993 <1.1%>
合計	額面・金額 銘柄数 <比率>	— 105	— —	2,740,374 <82.9%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) <>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年5月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
新株予約権付社債(転換社債)	千円 3,250,979	% 97.6
コール・ローン等、その他	80,470	2.4
投資信託財産総額	3,331,449	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(2,753,004千円)の投資信託財産総額(3,331,449千円)に対する比率は82.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信買賣相場の仲値により邦貨換算したもので、1米ドル=155.70円、1ユーロ=167.83円、1スイスフラン=171.72円、1香港ドル=19.92円、1シンガポールドル=115.06円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年5月10日現在)

項目	当期末
(A) 資産	
コール・ローン等	3,331,449,197
公社債(評価額)	71,169,950
未収利息	3,250,979,377
前払費用	8,711,197
(B) 負債	588,673
未払金	25,559,999
未払解約金	20,500,000
(C) 純資産総額(A-B)	5,059,999
元本	3,305,889,198
次期繰越損益金	2,238,287,239
(D) 受益権総口数	1,067,601,959
1万口当たり基準価額(C/D)	2,238,287,239円
	14,770円

[元本増減]

期首元本額 3,019,878,388円

期中追加設定元本額 103,938,204円

期中一部解約元本額 885,529,353円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・グローバルC B ファンド(少人数私募) 為替ヘッジあり
862,364,884円シュローダー・グローバルC B ファンド(少人数私募) 為替ヘッジなし
1,375,922,355円

○損益の状況 (2023年5月11日～2024年5月10日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 31,940,040
受取利息	31,980,251
支払利息	△ 40,211
(B) 有価証券売買損益	556,984,742
売買益	777,112,222
売買損	△ 220,127,480
(C) 保管費用等	△ 1,640,008
(D) 当期損益金(A+B+C)	587,284,774
(E) 前期繰越損益金	765,253,237
(F) 追加信託差損益金	37,749,185
(G) 解約差損益金	△ 322,685,237
(H) 計(D+E+F+G)	1,067,601,959
	次期繰越損益金(H)
	1,067,601,959

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【受益者の皆様へ】 法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの当期運用状況をご報告申し上げます。

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 26 期

(計算期間：2024年4月16日～2024年10月15日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・外貨建資産への投資は行いません。



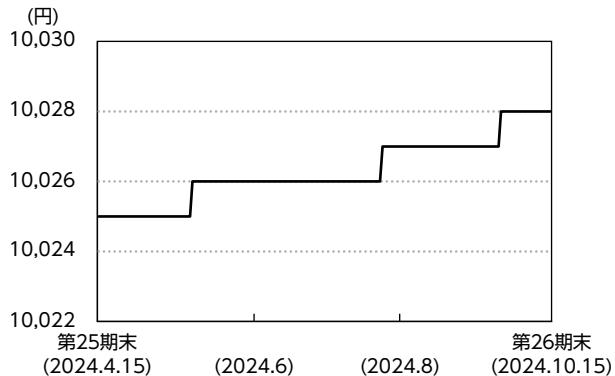
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2024年4月16日～2024年10月15日

基準価額額等の推移



基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額			
				円	%	%	百万円
22期 (2022年10月17日)	10,029	0.0	79.4				50
23期 (2023年4月17日)	10,027	△0.0	89.9				706
24期 (2023年10月16日)	10,025	△0.0	82.1				720
25期 (2024年4月15日)	10,025	0.0	83.1				1,391
26期 (2024年10月15日)	10,028	0.0	92.2				1,375

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率		
			円	%	%
(期首)2024年4月15日	10,025	—			83.1
4月末	10,025	0.0			83.3
5月末	10,026	0.0			83.5
6月末	10,026	0.0			85.3
7月末	10,026	0.0			86.0
8月末	10,027	0.0			85.8
9月末	10,028	0.0			86.1
(期末)2024年10月15日	10,028	0.0			92.2

(注) 謄落率は期首比です。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

1万口当たりの費用明細

2024年4月16日～2024年10月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－%	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,026円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2024年4月16日～2024年10月15日

公社債

国内	地方債証券	買付額	売付額
		千円	千円
	地方債証券	349,940	(156,000)
	特殊債券	—	(82,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2024年4月16日～2024年10月15日

公社債

銘柄	買付	千円	銘柄	売付
	金額			金額
第146回 共同発行市場公募地方債	175,623	—	—	—
第147回 共同発行市場公募地方債	87,200	—	—	—
第748回 東京都公募公債	87,117	—	—	—

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2024年10月15日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
千円	千円	%	%	%	%	%	%
	1,099,000 (1,099,000)	1,100,147 (1,100,147)	80.0 (80.0)	—	—	—	80.0 (80.0)
地方債証券							
特殊債券 (除く金融債券)	167,000 (167,000)	167,152 (167,152)	12.2 (12.2)	—	—	—	12.2 (12.2)
合計	1,266,000 (1,266,000)	1,267,299 (1,267,299)	92.2 (92.2)	—	—	—	92.2 (92.2)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%	千円	千円	
地方債証券	第748回 東京都公募公債	0.4560	2025/9/19	87,000	87,112
	第213回 神奈川県公募公債	0.5340	2025/3/19	175,000	175,319
	第146回 共同発行市場公募地方債	0.5530	2025/5/23	175,000	175,406
	第147回 共同発行市場公募地方債	0.5480	2025/6/25	87,000	87,186
	平成26年度第1回 滋賀県公募公債	0.4950	2024/11/28	200,000	200,121
	令和元年度第8回 神戸市公募公債(5年)	0.0010	2024/10/25	200,000	200,000
	令和元年度第1回 鹿児島県公募公債(5年)	0.0010	2024/10/31	175,000	175,000
	小計	—	—	—	1,100,147
特殊債券 (除く金融債券)	第231回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.4950	2024/11/29	79,000	79,047
	第69回 政保地方公共団体金融機関債券	0.4140	2025/2/17	88,000	88,104
	小計	—	—	—	167,152
	合計	—	—	—	1,267,299

投資信託財産の構成

2024年10月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	1,267,299	92.1
コール・ローン等、その他	109,288	7.9
投資信託財産総額	1,376,587	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目		(2024年10月15日現在)
当期末		
(A)資	産	1,376,587,399円
コ ー ル · ポ ー ン 等		108,477,511
公 社 債(評価額)		1,267,299,290
未 収 利 息		721,187
前 払 費 用		89,411
(B)負	債	1,427,770
未 払 解 約 金		1,427,770
(C)純 資 産 総 額(A - B)		1,375,159,629
元 本		1,371,321,507
次 期 繰 越 損 益 金		3,838,122
(D)受 益 権 総 口 数		1,371,321,507口
1万口当たり基準価額(C / D)		10,028円

(注1) 期首元本額 1,388,192,825円
 期中追加設定元本額 143,291,136円
 期中一部解約元本額 160,162,454円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式ファンド(毎月決算型) 10,000円
 ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定) 49,936,464円
 ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型) 9,994円
 ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型) 9,984円
 ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型) 9,984円
 ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型) 9,984円
 ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型) 9,984円
 J P X日経400アクティイ・オープン米ドル投資型 9,976円
 J P X日経400アクティイ・プレミア・オープン(毎月決算型) 9,976円
 ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型) 9,974円
 ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型) 9,974円
 ニッセイ/MFS外国株低ボラティティ運用ファンド 9,967円
 ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジあり) 9,967円
 ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジなし) 9,967円
 ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型) 9,968円
 D Cニッセイセイターゲットデートファンド 2 0 2 5 1,320,986,105円
 ニッセイ/コムジェスト・新興国成長株ファンド(資産成長型) 9,969円
 ニッセイ/コムジェスト新興国成長株ファンド(年2回決算型) 9,969円
 ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり) 9,969円
 ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし) 9,969円
 ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヶ月決算型・為替ヘッジあり) 9,969円
 ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(3ヶ月決算型・為替ヘッジなし) 9,969円
 ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジあり) 9,969円
 ニッセイ/T CW債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし) 9,969円
 ニッセイ/ショウダーハーブ・グローバルBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり) 9,970円
 ニッセイ/ショウダーハーブ・グローバルBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし) 9,970円
 ニッセイ/ショウダーハーブ・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり) 9,970円
 ニッセイ/ショウダーハーブ・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし) 9,970円
 グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想分配金提示型) 9,972円
 グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型) 9,972円
 ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想分配金提示型) 9,972円
 ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型) 9,972円
 限定期型(機上償還条項付ニッセイ世界リカリーフ式戦略ファンド(為替ヘッジあり)) 9,973円
 ニッセイ/ショウダーハーブ利回りCBファンド2023-02(為替ヘッジあり・既定追加型) 9,974円
 既定追加型(機上償還条項付ニッセイ世界リカリーフ式戦略ファンド2023-07(為替ヘッジあり)) 9,975円
 既定追加型(機上償還条項付ニッセイ世界リカリーフ式戦略ファンド2023-07(為替ヘッジなし)) 9,975円
 ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(資産成長型) 9,975円
 ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(毎月決算型) 9,975円
 ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり) 9,968円
 ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし) 9,968円
 ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり) 9,968円
 ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし) 9,968円

損益の状況

当期 (2024年4月16日～2024年10月15日)	
項目	当期
(A)配 当 等 収 益	2,180,665円
受 取 利 息	2,180,665
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,789,977
売 買	△ 1,789,977
(C)当 期 損 益 金 (A + B)	390,688
(D)前 期 繰 越 損 益 金	3,489,065
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	377,348
(F)解 約 差 損 益 金	△ 418,979
(G)合 計 (C + D + E + F)	3,838,122
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	3,838,122

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。